

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度 第6回和田区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

（1）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（公開）

（2）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」（公開）

## 3 開催日時

令和3年11月17日（水） 午後6時30分から午後8時00分まで

## 4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：有坂正一（会長）、植木厚祐、金子良一、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子、清水雅浩、高橋武弘、平原留美、宮崎雅彦（副会長）、山岸優子  
（欠席3人）

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、五十嵐主任

## 8 発言の内容

### 【小池係長】

・片田委員、佐藤力委員、平原委員、横田委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

### 【有坂会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：金子委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

(平原委員到着)

【堀川センター長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき議題の確認

【有坂会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

一次第3議題（1）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について—

【有坂会長】

次第3議題（1）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてに入る。

前回の会議では市から地域協議会に投げかけられた「意見交換」「会議運営」「情報発信」の3点について、今後の取組内容に係る意見を出してもらった。その意見を基に和田区の取組（案）を整理したので事務局より説明を願う。

【堀川センター長】

- ・資料No.1により説明

【有坂会長】

只今の説明について、委員の質問を求めるがなし。

それでは、和田区の取組（案）についてア、イ、ウの順で協議する。

【有坂会長】

まず、ア意見交換について、和田区の取組（案）の「自主的審議の協議等により、必要に応じて地域団体、地域住民との意見交換を行う。」ということについて意見を求める。

植木委員どうか。

【植木委員】

提案のとおり、自主的審議事項等については地域住民の皆さんと協議をした方

がいいと思う。

【有坂会長】

草間委員どうか。

【草間委員】

確かに地元の方々と地域協議会とで会議を持つことは非常にいいと思う。ただ、どういったテーマで、どことやるかというのが私もまだしっかりした考えがまとまっていない。その辺が出てこないと具体的なことにならない。まだちょっと考えたいと思う。

【有坂会長】

いずれにしても、これからいろいろなことを考えながら進めていくので、まずこれをやるということで、皆さんの賛成をいただけるかどうかということになると思う。概ねこの考え方に異論がないということによろしいか。

【草間委員】

はい。

【有坂会長】

高橋委員どうか。

【高橋委員】

今の発言のとおり、どういう手順でどういうやり方で交流するかという部分について、自分もまだ疑問もある。やり方は結構気になる部分もあるが、内容としては確かにこのとおりだし、やっていくべきだと思っている。

あとは、地域ごとに結構熱の違いがあると思う。一生懸命な地域もあれば、一生懸命でない地域もあるということが、ちょっと私自身、最近感じている。その辺がどういうやり方がいいか、ちょっと考える必要があると思う。

【有坂会長】

他に委員の意見を求めるがなし。

ア意見交換について、この案のとおりでよいかを諮り、了承を得る。

次にイ会議運営についてに入る。

既に原則、毎月第3水曜日ということで会議が進んでいる。

この案について委員の意見を求めるがなし。

異論なしということで、現行どおり毎月第3水曜日の午後6時30分から会議を開催することにする。

会議運営の中に「グループワークの実施等、委員が意見を出しやすい会議運営に努める」という案が挙げられている。これはその会議の内容に応じて個々にグループワークをしたり、こういった全体会にしたりということで会議を進めていきたい。

この件について、委員の意見を求めるがなし。

特に異議なしということで、グループワークとこういう全体会というような形で会議を運営していきたいと思う。

次に視察や研修の積極的な実施について、「自主的審議事項の協議等により、必要に応じて視察や研修を行う」という案である。

これについて、委員の意見を求める。

つい先日の日曜日に釜蓋遺跡の視察について、今回の地域協議会として初めての視察ということで行った。皆さんそれぞれ釜蓋遺跡に対する認識を新たにされ、私も新たにした者の一人である。こういったことをこれからできるだけ地域協議会の運営の中に取り込んで、地域の皆さんとよりよい和田区の発展に進んでいきたいと思う。その節は奮って参加してもらいたい。

ではこの案のとおり、これからは研修や視察を随時必要に応じて行っていくことでよいかを諮り、了承を得る。

次にウ情報発信について、現在の地域協議会だよりは年4回出しているが、皆さんの意見をまとめて、最終的に年4回の発行で現状どおりという案になっている。

この件について委員の意見を求めるがなし。

それでは今までどおり全戸配布で年4回の発行ということで進めていきたいと思う。

次に掲載内容について、委員以外の方からも意見を頂戴して、それを掲載することによって、進めていきたいと思っている。

この件について委員の意見を求めるがなし。

特になしということで、委員以外の方に、事務局なり正副会長が、後は皆さんから特にこういった方の意見を聞きたいとか、こういった方の話を載せてみたいということがあれば、その方にもお話して地域協議会だよりに載せていくよう交渉していきたいと思う。

この「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組については、この案のとおり進めていくことにする。

以上で次第3議題(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてを終了する。

#### 一次第3議題(2) 自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」一

##### 【有坂会長】

次第3議題(2) 自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」に入る。

この自主的審議事項に関する審議に生かすため、11月14日に上越妙高駅西口の釜蓋遺跡の視察を行った。その内容について事務局より報告願う。

##### 【小池係長】

- ・当日配布資料No.1により説明

##### 【有坂会長】

只今の説明を踏まえ、視察に参加された方から意見を伺うとともに、当日、都合が悪く参加できなかった方からも、只今の説明を聞いて何らかの意見を持ったと思うので、それぞれの考えを伺う。植木委員から順番に1人2分程度以内に収まるよう発言を願う。

##### 【植木委員】

先日の日曜日に釜蓋遺跡公園と釜蓋遺跡ガイダンスを見学した。本当に貴重な体験というかいろいろな話を初めて聞いて、歴史的な価値があるものとか、そういったことが勉強できて大変有意義だった。

この釜蓋遺跡公園、釜蓋遺跡ガイダンスも含めて、これらを今回の自主的審議事項の「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」にどうやって生かせばいいかということを考えてみた。なかなか釜蓋遺跡というものが直接的に駅周辺の活性化になるかというとなかなか難しい。活性化というと地域の人達からこの公園を使ってもらうことよりも、市外とか県外とか、せつかく上越妙高駅という新幹線の駅があるので、例えば長野県から来てもらって上越妙高駅に降りて、そこが活性化していくというか、お金を落とさせていただいて活性化していくというイメージがある。それが釜蓋遺跡公園と釜蓋遺跡ガイダンスに直結するようなイメージがまだちょっとできていない。何かいい提案ができればと思ったが、まだ今は意見がまとまっていないのが正直なところである。

あと一つ、都市公園ということで火が使えないというのは、多分、都市公園法とか何か法律上の制約があるかと思う。それが市の条例で変更できるのかとか、行政として「火も使えますよ」とか、「キャンプ場としても使えますよ」というように、前向きに検討してもらえるのかどうか、また改めて聞きたいと思う。

#### 【金子委員】

私は研修会を欠席したが、この資料を見る限り、私は近くに住んでいるが全然こういうものがあることもわからなかったし、結構いろいろいいものがたくさんあると思った。小学校の子ども達が、花を植えたり、コメを作ったり、いろいろな活動をされていい場所だと思う。

ただ、ちょっと話が違うが、上越妙高駅周辺の活性化に関連して、この遺跡のことを審議することが、どこから話が出たのか私はちょっと理解できない。この資料（前回会議の資料No.1）に6月24日に皆さんが出した意見を「公共施設の整備による活性化」「民間企業、店舗等の進出による活性化」「道路、交通の整備による活性化」「賑わいの創出による活性化」の4つの項目に区分しているが、この中に釜蓋遺跡というものは出ていない。ここを視察したことはすごくいいことだが、どこからこの視察になったのかわからない。植木委員の発言のとおり、活性化にはちょっと違うのかなと思う。この見学はすごくいいことだが、どこからこれを見学することになったのか。この4つの項目の中に、これは載っていないと

私は感じた。釜蓋遺跡はいい施設だと思うが、活性化とはちょっと違うのかなと思う。

#### 【草間委員】

私も何をこれからやればベストなのかというのは、はっきりまだわかっていない。しかし、ただ言えることは、私達はこの駅の周りにどういう施設があって、どういった活用ができるかということをしっかり見ておかないと、活性化といっても釜蓋遺跡を知らないでそういったことばかり言っても仕方ない。いろいろなことを知る必要があるという一環で、その一つが釜蓋遺跡の視察であったと考えている。

なので、そういった周りのことを知ることによって、今度、何を生かしていいのかということ私達は考えるべきだと思う。

#### 【佐藤勝雄委員】

当日は天候に恵まれて非常によい研修であった。私も今まで釜蓋遺跡ガイドスの中には入ったことはあったが、釜蓋遺跡公園は初めてだった。

最初に芝生広場に行き、東屋もあり、何か制限はあるがイベントができるとのこと。それは大多数の方はあまりご存知ないと思うので、地域協議会だよりに使える趣旨を表示した方がいいと思う。

あと公園の中の環濠について、砂利を敷いてここに環濠があるというのはわかるが、遺跡公園というイメージがあまり出てこない。これは可能かどうかわからないが、ベンチを置いて、出土遺跡等を表示する看板、写真、そういうのを置いたら「ここから出土したのか」ということで理解度も深まるような気がする。

どちらにしる素晴らしいロケーションで、また西側の方に至っては今は田んぼで、圃場整備をしてそのまま田園が残るとのこと。非常にロケーション的には素晴らしい。ぜひ上越妙高駅で降りて時間のある方は、必ず寄れるようにPRした方がいいと思う。

それと、駅西口に建物が建ったことで駅の中から釜蓋遺跡の看板が見えにくくなっている話を聞いた。そこも何か制限があるのかわからないが、観光、景観条

例等あるかもしれないが、ここに釜蓋遺跡公園がありますとPRできる表示を出した方がいいと思う。

#### 【篠原委員】

私は狭い範囲の意見であるが、なんかちょっと観光としては寂しい。勉強する場みたいな感じを受けた。それで、もう少し賑やかな感じにしてほしいと思う。

例えば、地すべり資料館に行くとビデオがある。結構画面で見て、学芸員の説明も非常にいい。そういうのがあるといいと思った。また、先ほどの資料に書いてある先進地の視察とか、何か他のところのそういう情報もちょっと入れてもらえれば、また楽しいのではないかと思った。

#### 【清水委員】

当日、急に行けなくなってしまい非常に残念だった。まだこの施設に行ったことがないので、ぜひ行ってみたいと思っていた。

よくこの施設の前を通る度に、今、空前のキャンプブームで、ここでキャンプができれば最高だろうなと思いながら通っている。キャンプは難しいということだが、植木委員の発言のとおり何か規制があって、その規制が解除できるのであれば、キャンプ場として活用すると非常に人が集まる場所になると思う。

#### 【高橋委員】

これまでの委員が言われたとおり、正直言って学習の場という雰囲気はぬぐえない。観光地というより勉強するための場所という感じの方が強かったというのが私の第一印象である。

それと当日、施設を案内してくれた方から、以前は駅西口に建設されたホテル等がなかったので、駅から施設が丸見えだったが、ホテル等ができたことで、辛うじて釜蓋遺跡の看板の上に付いている勾玉が見えるだけになっているという話があった。それを聞いて思ったのが、駅の構内にこの施設を案内するもの、例えばここにこういう遺跡、歴史的なものがあるよというような、ジオラマとは言わないまでも、地図があって、そこに何があるみたいな、そんな表示ができるものはあるのだろうか。人を誘導するためには、そういうものはやはり必要だと思う。それはちょっと地域協議会の中で決められるものではないかもしれないが、そう

いうのも考えていかないといけないのではないか。

それと先ほどからキャンプ場の話が出ていたが、やはり全部をそうするという意味ではなく、ここからここまではキャンプ場として許可できる、というような方向の検討があつてしかるべきかと思う。

#### 【平原委員】

釜蓋遺跡ガイドンを視察して、同時にたくさんの情報をもらい、年間1,500万円弱の維持管理費をかけて運営しているということで、これは上越妙高駅の前にあつて、大事にしなければいけない施設なのかなという印象をととても受けた。

観光地というか、何かで集客を、イベントでもそうだが、集客する場合、民間だけの力でPRしたり情報発信したりするというのはとても限界があるが、行政と一緒にPRしていくことになれば、もっと外の地域に情報を飛ばすことができる。そういった面でこの釜蓋遺跡ガイドンを外にPRして、外から人を呼び込むという方法はすごくいいのかなと思った。

夏に野尻湖のほりにあるナウマンゾウ博物館に行った。コロナ禍で子ども達も行くところがないのと、学習をさせる面でも博物館に行くのがいいと思い連れて行った。あそこは発掘調査をずっと以前から何年も何十年も前からやっていると思うが、そういった歴史があつたりして、大人が見ても楽しく、子ども達が見ても楽しめるような施設であつたと思っている。施設の中に少し喫茶コーナーもあつたり、本も売っていたり、グッズも販売していたりとか、そういったところで少し時間を過ごせて勉強もできて、野尻湖も見れて、何か少し時間を過ごせることができている施設だつたと思っている。

釜蓋遺跡ガイドンを一大観光地にするというのはなかなか難しいというか、壮大なことではあると思うが、せつかく駅の前にあつて立ち寄れるところなので、もし自主的審議事項で我々が協議していくとすれば、釜蓋遺跡ガイドンを良くしたいと思っている方達と意見交換をして、どのように良くしたいか、どうしたら活性化になるか、何をしたらよくなるのか、できることは何なのかということの一つずつやっていって目標を立てると、少し審議事項というか、活動に繋がる

のではないかと思った。

**【山岸委員】**

今回、釜蓋遺跡の視察に参加し、天気もよく、私自身はすごく勉強になってよかったと思う。

先ほど佐藤勝雄委員も言っていたが、歩いてみて、あの素晴らしい景色の前で立ちどまるというか、ベンチがあれば、そこにちょっと座って休憩をして、そしてまたその素晴らしい景色を見れたり、もしここに花か何かが植わっていてちょっと彩りがあればもっといいのかなと思った。

ずっと回って帰ってきたときに、ちょっと楽しくおしゃべりをしながら歩いていたが、ここでちょっと何か飲み物とか、もし子どもが歩いたりしたら、子どもの好きな何かアイスクリームみたいなものが食べられるところがあるとよいのではないかと思った。

**【宮崎副会長】**

私もそんなに見たことがなかったので、本当にためになった。

最初にびっくりしたのが令和2年度決算の概況で令和2年度の収入実績が73,000円、公費投入額が1,400万円ということで200倍になっている。施設だからいいのかもしれないが、こんなに差がつくのは珍しいと思った。それでどうしてなのかと思った。新幹線新駅が平成27年にオープンしたと思うが、その前ぐらいから釜蓋遺跡応援団がスタートしていろいろなことをやってこられた。例えば土器でお米を炊いてみたりとか、いろいろなことをやってきたが、なかなかうまくいかなかったとか、あと北側エリアでもコスモスや菜の花などいろいろなことをやってきたが、なかなかうまくいかないから、だんだん応援団の人の元気がなくなってきて、それとコロナ禍ということなのかなと思った。

たまたま視察の前日に私の友達がラインで関川河川敷のコスモスの写真を送ってくれた。(写真を委員に示す) そのようになれば人が増える。その関川河川敷のところはものすごく人もたくさんいて駐車場もある。これは国土交通省がやっているんで、こういうふうになっているのだろう。そのあとも知り合いで植物に詳しい人に聞いてみたら、ここも除草剤を使っていないので相当大変らしい。コス

モスとか植物は除草剤を使えば結構楽にできるが、除草剤を公が使うわけにいかないで、このようにコスモスでいっぱいにするのは難しい。だが知恵を絞って、国土交通省はこのように行っているので、まずそういうのを聞いてみるとか、あと、上越つくしの里でひまわりをやっていたり、安塚で柳葉ひまわりというものもあるので、少しずつ研究していけたらと思う。

あと文化行政課の新保課長は縦穴式の建物は1,000万円ぐらいかかり、維持管理も大変なのでつくるのは大変だと言っているが、そんなことを言ったら何もできなくなるし、やはり体験することが大事だと思う。土器や勾玉、包丁とかもある。

視察当日に要望したが、本州最北端の環濠集落ということは誰も知らないし、あと、新保課長がこれは私のいち推しなんですと言っていた石芯も、もっとPRすればよいのではないかと本当に個人的に思った。本当にいいものがいっぱいある。

新保課長も最後の方で言っていた「地域の人にどれだけ使ってもらえるかだと考えている」というのは、本当に地域の人達が使わない施設だと全然よくならないと思う。これから地域の人達といろいろな意見交換をしながらやっていくが、どのようにやっていくかは皆さんと相談させてほしいが、それがいいと思った。

#### 【有坂会長】

今回初めて中をじっくりと見て、建物の土器を見るのは今回が初めてだったが、結構かなりのものが出ているという印象を受けた。

釜蓋遺跡応援団の入会申込書もらったが、これを見るとお金を持って窓口に行かなくてはならないような書き方がしてある。振り込みとかの時代なので、そういったものにできないかということできたらお願いしたいと思っている。

雑駁な話だが私の考えは以上である。

それでは、参加した人、参加しない人も一緒に今回の釜蓋遺跡の視察研修について意見をいただいた。只今皆さんからいただいた意見を基に、今後この自主的審議事項についてどういった進め方をすればいいのかということの意見をいただきたいと思う。

先ほど宮崎副会長から写真を示しながら話があったが、どういった方向に進めていくかというのは、いろいろな考えもあると思う。今回の視察を基にまずここから手始めに始めてみるのも一つの方法かとは考えている。先ほど金子委員からも当初の題目として大きな項目が挙がっていたが、その項目は我々の範疇ではないのではないかと私自身は考えている。どうしても商店を呼び込むとか、何か施設をつくったらどうかという話になってしまう。とても我々の力の及ぶ範囲ではないと思うので、まず地域の人達と話し合いながら我々がどういったことを手助けできるかということが、我々の第一命題ではないかと考えている。

私のこの意見だけではなく、皆さんからどんどん意見をいただきたいと思う。

**【草間委員】**

市長が代わられて、その予算というのは継続されるのか。この議論と直接的なものではないが、この活動というのは同じレベルで継続されていくのか。

**【有坂会長】**

事務局、市長が代わってどういった方針が示されるのかまだわからないと思うが、何かちまたの噂みたいなものはあるのか。

**【堀川センター長】**

この活動とは何か。

**【草間委員】**

地域活動支援事業のことである。私達の活動自体は4年間の活動ということで、継続していくと思う。ただ地域活動支援事業に同じぐらいの予算がついて、継続されるのかどうかと思った。

**【堀川センター長】**

それはまだ市長と協議中であり、はっきりとした結論は今のところない。

**【金子委員】**

市長選の際に公約を見たら、和田区の620万円はなくすということが書いてあった記憶がある。そういうものはあまり意味がないので、やり方を変えるということが書いてあった記憶がある。だからもうなくなるというのが私のイメージである。

**【有坂会長】**

いずれにせよ、今後方針は示されると思うので、我々としてはそれを待つしかないと考える。

**【堀川センター長】**

地域協議会の制度自体は変わらない。条例で設置された範囲なのですぐ変わることはない。地域活動支援事業は前の市長の政策で始めたものである。新しい市長がどう考えるかは、今の段階で公式な見解は言えないので、お待ちいただきたい。いずれにせよ、また皆さんに報告しなければならないし、地域協議会の会長会議でも議題になると思う。

**【有坂会長】**

他に意見はあるか。

**【植木委員】**

どうしてもこの上越妙高駅周辺の活性化ということについて、審議をしなくてはならないという頭があるので、何をどう活用したらどう活性化するのかということばかり考えている。

宮崎副会長から話があった花の育成とかということも行えば必ず人も見に来るし、そこで飲み物を飲んだり、食べ物を食べたりとかということで地域も活性化するのではないかと思う。この花の育成とかということもすごくいいことだと思った。

それとやはり、どうしても花の育成というのは通年ではなく、その時期に花が咲くので、通年で地域を活性化させる何かアイデアとか施設とか、何かものをつくっていかないと、年間通してこの上越妙高駅前が活性化していかないと考えている。そうすると、キャンプ、グランピングと私が前々回くらいに話したが、それが通年で人が来てくれるかということと冬場とか全然できないわけで、春先から秋口ぐらいまでだが、それを通年の活性化のための手法としてというのも一つだろうと思う。

あと単発のオクトーバーフェストとかいろいろなイベント、祭りごと、何でもいいが、それを芝生広場の中でやって人を呼び込むということも必要なことだと

思う。いろいろな活動、いろいろなアプローチをしていかないとこの上越妙高駅前には活性化しないのではないかと考えた。

なので、先ほど平原委員も言っていたが、その釜蓋遺跡応援団の方は本当に地道な活動をされているので、その方たちと一緒にいろいろな協議をしながら、いろいろなことをやっていかないと、一つやればそれですべてが解決して活性化するというのではないと思うので、いろいろな角度からアプローチして活性化を目指してやっていきたいというふうに思った。

**【宮崎副会長】**

私も今話を聞いて、都市公園に関連して文化行政課の新保課長がはっきり駄目だと言わなかったもので、できる余地がないのかというのを確認した方がいい。

それと、やはり釜蓋遺跡応援団の人達が今までどんなことをしてきて、どうだったのかをまずよく教えてもらうのが一番手っ取り早いと思うので、そのようなことで少しずつやっていけばいいのではないかと考えた。

**【金子委員】**

6月24日に皆さんが出したこの4つの項目（前回会議の資料No.1）の活性化の考えは、私らの地域協議会としては意見を出しただけで、何も話をしないということか。そんな感じで私は受けとめた。

**【有坂会長】**

その内容はかなり規模が大きくなりすぎているのではないかと考える。そこまで我々に力があって応援できる、活性化に助力できるということではないのではないかと考える。まず一番身近なところから、まず活性化をするにはどういうところからやったらいいのかということ考えた場合に、釜蓋遺跡が近くにあり、そこからまず手始めに動き始めたらどうかと考えた。

**【金子委員】**

それでまず釜蓋遺跡を視察したり、考えるという話になっていたのか。

**【有坂会長】**

そのとおり。

**【金子委員】**

この4つの項目に釜蓋遺跡のことは何も出ていない。なぜ釜蓋遺跡の視察の方に話が行ったのか疑問に思っている。4つの項目の資料に宮崎副会長のコスモスの話も一つ載っているが、それだけで釜蓋遺跡全体の方に話が行ってしまっている。しかし今言われたとおり、これはちょっと大きな仕事なので、地域協議会でやるというよりも市の仕事かと思う。それで市役所の人にこれはどうですかというのを伺えればよいと思ったが、それもできないようで、ちょっと残念である。

**【有坂会長】**

釜蓋遺跡についてまず手始めに動いてみようという考えである。

**【金子委員】**

それはどなたが考えたのか。釜蓋遺跡の話は出ていなかったと思う。これらの意見を皆で出して、では何をするかということで交通政策課の方がはじめに来られ、次の会議で釜蓋遺跡の担当の方が来られた。なぜ釜蓋遺跡の担当の方が来たのか不思議に思っていた。私はその時、交通政策課の方が答えると思っていた。その時も質問が出ていなかったなので、この内容は質問されないし、返答もなかった。私としてはこのいろいろなことに対しての市の返答がほしい。直接来られなくても、これはどうですか、上越妙高駅前からの高速バスの発着についてどうお考えですかとか、そういう意見が出た中で市はどう考えているのか。駄目ですか、そういうのを私は聞きたい。我々地域協議会の委員の一人一人の考えがある。釜蓋遺跡も悪くはないが。

**【宮崎副会長】**

確かこの視察をする前の前回会議の時に金子委員も出席していたと思うが、その時に一つ一つ、今言われたのは大きな問題であり、すぐ結論が出ないので、とりあえず釜蓋遺跡は皆さん見たことがないと言っていたことから、とっかかりとして釜蓋遺跡を見てみましょうという話をしただけで、他の項目はしないという話はしていないと思う。

**【金子委員】**

でもしない。

**【宮崎副会長】**

今のところすぐにはしないということ。

**【金子委員】**

大きなもので私らが手をつけられる出来事ではないと皆さんがこっちを挙げたので、できないと私は受けとめた。

**【有坂会長】**

それはできないという考えにしてもよいのではないか。もう我々の手に負えるものではないので。

**【金子委員】**

我々では手に負えないので、市役所の人にやってもらうような話はないのか。

**【有坂会長】**

それは地域協議会として言うことではない。

**【金子委員】**

市に高速バスについて、ここを発着にしてもらえないかという要望もできないのか。そして市がこれはできないとか、これは発着が高田駅からだ、直江津駅からだとか、そういう話し合いもできないのか。皆さんからこういう意見が出ている中で何もできないなら、何もしないで釜蓋遺跡の方に移られても私はちょっとその考えはわからない。釜蓋遺跡はいいことだが、地域協議会の中でこうやって意見を出した中で、これは大きなことだから我々地域協議会では何もできない、市役所の人達がやるにしても私らはこのように要望して、これは通るのか、通らないのかということも聞けないということか。

**【有坂会長】**

こちらとして要望を出すことは可能なのか。

**【小池係長】**

今まで和田区の活性化などでグループワークをしたり、皆さんで話し合っていたことを経て、先ほど金子委員が言われた4つのカテゴリーに分けた意見が出た。どう進めていくかということで、民間企業等の進出による活性化などの意見も出た中で、市の担当課から来てもらい、駅周辺の土地、私有地の利用状況

などを説明してもらった。その場で委員からもいろいろ質疑が出た中でわかったことがあり、それをまとめた資料をこの4つのカテゴリーの資料とともに前回会議で配布した。わかったこととして、土地の利用状況で約9割の土地は何らかの方向性が出ていて、誘致をする協議会も解散した中、大きな変化というのは難しいということが認識された。次に釜蓋遺跡の花を通じた活性化という意見も出た中で、釜蓋遺跡の担当課から来てもらい、またいろいろわかったことがあった。これらを踏まえ、4つのカテゴリー、具体的には「公共施設の整備による活性化」「民間企業、店舗等の進出による活性化」「道路、交通の整備による活性化」「賑わいの創出による活性化」について、前回会議で皆さんから話し合ってもらい、いろいろな意見が出た。その会議の最終的なまとめとしては、「公共施設の整備による活性化」「民間企業、店舗等の進出による活性化」「道路、交通の整備による活性化」については、今、地域協議会が取り組めて何らかのことができるとなるちょっと難しいという意見もある中、「賑わいの創出による活性化」に着目し、釜蓋遺跡の担当課の説明を聞いて、何らかの可能性が見出せる部分も感じられたので、まずは釜蓋遺跡の現地視察をして現状把握する方向となった。

先ほどの要望ということについては、前回会議で植木委員から総合的な意見があったと思うが、そういった意見も踏まえ、また皆さんで話し合っていく部分だと思う。

#### 【有坂会長】

今の話にあったように4つの項目の中で3つの項目は市の方針が決まらなければ何もできないというような状況の問題ではある。なので、その3つの項目は我々の手の出るような範囲、範疇のものではなく、「賑わいの創出による活性化」について、進めて行った方が我々としては一番やりやすいのではないかという考えが出て、その手段としてまずは一番近くにある釜蓋遺跡を見てみようということで日曜日に視察をした。

今後、その釜蓋遺跡に別にこだわる必要はないと思うが、我々の自主的審議事項をどう進めていくかというのはこれからの話し合いの中で決めていくということになると思う。

#### 【平原委員】

そもそも皆さんに活性化について意見をということで意見が出された。それぞれの規模だったり、レベルだったり、もう多岐にわたり過ぎて、いろいろな意見が出て、地域協議会のレベルから市議会のレベル、非常に広いレベルの意見が出たのだと思う。

ただ、出た意見ではあると思うので、その意見について、ここで解決ができないのであれば、金子委員が思われているそういった質問をどこへ行って話をして、確認をすればそれが解決するのか、もしわかれば教えてもらい、伝えた方がいいのかなと思った。そうでないと、いつまでたっても活性化をするには、これとこれとこれが、という思いが強いと思われるので、どこへ行けばその答えが出るのかというのをわかれば伝えていただきたいと思う。

#### 【有坂会長】

どこへ行けば答えが出るかというのは、私はちょっと難しすぎて答えられないが、事務局がその辺を答えられるのであれば、お願いしたい。少なくとも最初の交通政策課に対して確か質問が出たと思うが、それに対する答えが示されたか。

#### 【堀川センター長】

最初に皆さんで意見出しした時に、これはどうなんだ、あれはどうなんだということで、皆、状況がわからないことだらけだったと思う。それを解決するために市の担当課を呼んで説明をしてもらい、どうやらその説明を聞くと、4つの項目のうち3つの項目はできそうにない、市はやる気がない、できないということがわかったと思う。わかった上で、会長が今言われたようにまとめられた部分もあるし、植木委員も当時まとめられた部分での発言もあったと思うし、宮崎副会長の発言もあったと思う。金子委員以外の他の委員はどう受けとめられたかはわからないが、そういった駄目だということがわかった時点で、では釜蓋遺跡の方をメインにしていけば何か起きるのではないかということで、釜蓋遺跡の視察に行ったというのが今の流れだと思う。皆さんそういった流れで理解いただけているか。

どうしても3つの項目に係る回答が欲しい、どうしてもそれがないと先に進め

ないと言われるのであれば、私も会長と相談して3つの項目に係る回答ができるのかどうか、担当課と話をし、できる、できないについて回答を聞いていきたいと思う。それでよろしいか。

**【有坂会長】**

それでいいと思う。まずその回答ができるかどうかということを確認して、それを次回は難しいにしても年度内にその回答をもらうということで、聞きたいと思う。聞けるものであれば。

それとは別に、前回の地域協議会でもまずは釜蓋遺跡を見て、それからどう進めるかを協議するとなったと思うので、先ほどの回答が出る出ないは別にして、これから和田区地域協議会としてどういう方向に進めていったらいいのかということは今後話し合っていきたいと思う。ここでその意見を聞くのは時間的に短かすぎるので、今日皆さんからいただいた意見を正副会長、事務局で整理していきたいと思う。その点については次回の地域協議会で話をしていきたいと思う。

駅前の活性化については、皆さんそれぞれ駅の近くにいれば近い人ほどある程度、強い思い入れもあるかと思うが、駅の周辺そのものを我々の手で賑わいをつくるとか、何か施設を作るとか、そういったものは私はまず無理ではないかと考えている。なので、この会議の最初にあった会議の運営の仕方、これについてまず地域の人達と話し合っ、どういったことが我々としてできるのかということを考えながら進めていくというのが、この地域協議会としての進め方の第一方針だと思う。これからは地域の人達と話し合っ、我々のできることを探りながら進んでいきたいと思う。今後とも皆さんの意見をいろいろとお聞きすることになると思うので、その節はよろしく願います。

時間もかなり経過した。今日皆さんからいただいた意見は、今後、私と宮崎副会長、事務局で整理し、今後どういった進め方をしていけばいいのかということで、また皆さんに報告したいと思う。

以上で次第3議題(2)自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」を終了する。

—次第4事務連絡—

【有坂会長】

次第4事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

今回の会議の日程をお知らせする。

12月はお休みとし、次回は1月19日（水）午後6時30分からこの会場で行う。

その他の資料

- ・上越市創造行政研究所のニュースレター
- ・上越市男女共同参画推進センターのチラシ
- ・地域教育往来57号

【有坂会長】

只今の説明について質疑を求める。

【金子委員】

全然話は違うが、コスモスの関川河川敷の写真が配られたが、これは何のために配ったのか。

【宮崎副会長】

参考というか、このように綺麗だったということだけである。

【金子委員】

これを釜蓋遺跡のところに。

【宮崎副会長】

いや、それもどうかと思ったが、こういうのもあるという、ただの参考である。

【金子委員】

こういうのを見させていただくと、ちょっと詳しく知りたくなる。

【有坂会長】

それは後でまた個別にお聞き願う。

**【金子委員】**

NPOふるさとの会の会員の人数とコスモスを植えるにあたっての予算がいくらかかったか、これを見ると知りたくなる。それと、釜蓋遺跡の予算は年間1,500万円だったと思うが、それに収まるのかどうか。

**【有坂会長】**

次回またお聞きしたいと思う。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。